福山市

当初設計

2026年度

御幸3号線外2路線

福山市御幸町地内

道路転落事故防止工事　実施設計書

工事概要	当初設計	
	工事延長　L＝650.0m 転落防止柵工　L＝650.0m 嵩上工　L＝118m(V＝5m3) 区画線工　L＝120m 管理用出入口　N＝9箇所	

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

・本特記仕様書は、道路転落事故防止工事（御幸3号線外2路線）に適用する。
・本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
・令和8年8月　広島県　土木工事共通仕様書、「設計図書（別冊図面、仕様書）」、「福山市建設工事執行規則」、「福山市工事検査技術基準」
・その他関連規格類
・小黒板情報電子化を実施しない工事写真について、監督員の承諾を得る必要はないものとする。

第2節　工程表の提出について

・契約締結後14日以内に設計図書に基づいて、工程表を作成し、発注者に提出すること。工期の変更契約についても同様とする。

第3節　地元への周知

・受注者は、監督員と協議し、地先住民、町内会長、土木常設員に工事着手及び工事完了の報告を行うこと。また、工事着手に先立ち地先住民及び貸借人には具体的な施工内容、方法、時期等の説明を行い、承諾を得ること。
・受注者は、工事着手の際に、あらかじめ沿線地権者に施工内容等についての説明を行い、承諾を得ること。

第4節　施工承認図の作成

・受注者は、受注後、設計図書に基づき現地を照査し、施工承認図を作成し監督員に提出すること。

第5節　工事に着手すべき期日について

・受注者は、工事開始日以降30日以内に工事着手しなければならない。

第6節　法定外労災保険の付保について

・本工事は、法定外の労災保険契約の保険料を見込んでいる。

第7節　保安施設設置基準について

・工事標示板及び工事説明看板の挨拶文の記載については、広島県保安施設設置基準に準じたものにすること。

第2章　材料

第1節　コンクリートの配合指定

・鉄筋コンクリート（呼び強度21及び24）の水セメント比については55%以下、無筋構造物のコンクリート（呼び強度18）の水セメント比については60%以下とすること。

第3章　施工条件

第1節　関係機関との協議

・協議先機関名：福山市上下水道局工務部管路整備課
・協議内容　　：工事箇所付近の地下埋設物(配水管)について

第2節　検査期間

・本工事の工期は、工事検査期間として、14日間を見込んでいる。

第3節　交通誘導警備員

1 片側交互通行及び通行止め等の交通制限を行う場合は、関係官公署の許可条件を遵守し、関係機関との協議を十分に行うこと。また、地域の地元関係者等周辺を利用する市民への周知徹底を図り、安全かつ円滑な交通を確保して事故発生の無いように努めること。
2 作業現場、作業用地内の整理整頓に留意して必要な安全施設の設置等を行い、関係者以外の立入りを禁止して危険防止に努めること。
3 本工事における交通誘導員は、交通誘導警備員Bを見込んでいる。尚、交通誘導警備員の実施伝票は原本を提出すること。
4　本工事において交通誘導警備員の積上げ人数は、交通誘導警備員の対象となる施工量に対し作業日当たり標準作業量から必要な人数を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き、施工実績等による交通誘導員の積上げ人数の増員に対する変更は行わない。
5　受注者は、工事着手に先立ち、交通誘導警備員の配置計画（配置日数及び配置場所）を作成し、監督員と協議すること。

第4節　建設副産物について

(1)工事受注者は、工事着手前に、次の書類を本工事の監督員に提出すること。なお、建設発生土については、処分先の現地確認写真を提出すること。
1 建設廃棄物処理計画書
・廃棄物処理業者（収集及び運搬）の許可証の写し（許可車両の自動車登録番号一覧及び自動車検査証の写しを含む）
・廃棄物処理業者（中間処理・最終処分）の許可証の写し（再生資源化施設にあっては、それを示す書類を含む）
・運搬ルート、処分場の位置、事業の範囲、処理能力及び処理方法を明示したもの
・各処分場の現地確認写真
・建設工事の受注者と処理業者（収集、運搬、中間処理・最終処分・再資源化施設）との二者の業務委託契約書の写し
2 再生資源利用計画書
3 再生資源利用促進計画書
(2) 工事受注者は、「再生資源利用計画書」、「再生資源利用促進計画書」及び「建設廃棄物処理計画書」に従い建設廃棄物及び特定建設資材廃棄物が適正に処理されたことを確認し、工事完成時に次の書類を監督員に提出すること。なお、建設発生土については、処分先への搬入状況の写真を添付すること。
1 再生資源利用実施書
2 再生資源利用促進実施書
3 建設廃棄物処理実施書
・マニフェスト（産業廃棄物管理票）の写し及び再生資源化に係るものについては受入伝票の写し
（マニフェストは原則として環境省が示す全国統一のマニフェストを使用する。）
・収集及び運搬の写真並びに中間処理場及び最終処分場（直接最終処分の場合のみ）への搬入状況の写真

第5節　建設発生土（搬出）（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積））

・当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。また、搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）への搬出が困難となった場合は、監督員と受注者が協議するものとする。
・搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。
・実施伝票は原本を提出すること。

第6節　特定建設資材廃棄物（アスファルト塊、コンクリート塊等）

・建設リサイクル法対象工事（請負代金額500万円以上）の場合、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」を遵守し適正に処理すること。また、法第12条第2項に基づき、法第10条第1号から第5号までに掲げる事項について下請負人に告知する場合は、告知書の写しを監督員に提出すること。
・特定建設資材廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）を遵守し、適正に処理しなければならない。
・特定建設資材廃棄物は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設へ搬出し再資源化しなければならない。
・再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が廃棄物処理法に基き許可した適正な施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、施設への受入が困難な場合は監督員と受注者が協議するものとする。
・搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。

・マニフェスト（産業廃棄物管理票）の写し及び再生資源化に係るものについては受入伝票の写し
（マニフェストは原則として環境省が示す全国統一のマニフェストを使用する。）

第7節　排出ガス対策型建設機械の使用促進

・令和8年8月広島県土木工事共通仕様書で使用を義務づけている排出ガス対策型建設機械においては、第三次基準以上の建設機械の使用に努めること。なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

第4章　その他

第1節　その他項目

・本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

第2節　福山市週休2日適用工事について

・本工事は、福山市週休2日適用工事の実施について対象外とする。

総括情報表

変更回数	0
適用単価地区	70 福山市
単価適用日	00-08.10.01(0)
諸経費体系	1 公共(一般)

	当世代	前世代
工種	04 道路改良工事	
施工地域・工事場所区分	04 一般交通影響有り(2)	
復興補正区分	00 補正なし	
週休補正区分	00 補正なし	
現場事務所等の貸与区分	00 補正なし	
ＩＣＴ補正区分	00 補正なし	
冬期補正係数	00 補正なし	
緊急工事区分	00 通常工事 ０％	
前払金支出割合区分	00 補正無し	
契約保証区分	01 金銭的保証(0.04%)	

建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として，労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。

≪凡例≫

Co ･･･コンクリート　　As ･･･アスファルト
DT ･･･ダンプトラック　　BH ･･･バックホウ
CC ･･･クローラクレーン　TC ･･･トラッククレーン
RTC･･･ラフテレーンクレーン

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
道路改良	1	式			Y1E01　レベル1
防護柵工	1	式			Y1G0207　レベル2
防止柵工	1	式			Y1G020703　レベル3
転落(横断)防止柵 【柵高,作業区分】		m			Y1G02070305レベル4
横断・転落防止柵 コンクリート建込 ビーム式・パネル式 [規]100m以上 転落防止柵-標準品-4段ビーム型,白色	650	m			SS000145　00 単第0 -0001　表
支柱曲げ加工費	60	本			F0000001100 00
管理用出入口 W＝1.0m	9	箇所			V000000300　00 単第0 -0002　表
コンクリート削孔(コンクリート穿孔機) 削孔径90㎜以上100㎜未満 削孔深さ200㎜以上400㎜未満	290	孔			SPK26040116 00 単第0 -0004　表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
防護柵基礎工	1	式			Y1G020708　レベル3
コンクリート 【Co規格】		m3			Y1G02070803レベル4
嵩上工 Aタイプ	101	m			V000000100　00 単第0 -0005　表
嵩上工 Bタイプ	17	m			V000000200　00 単第0 -0014　表
運搬処理工	1	式			Y1E011216　レベル3
殻運搬 【殻種別】		m3			Y1E01121601レベル4
殻運搬 舗装版破砕 DID区間有り 運搬距離3.5km以下(3.0km超)	3	m3			SPK26040155 00 単第0 -0015　表
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離14.4km以下(10.9km超)	0.4	m3			SPK26040155 00 単第0 -0016　表
殻処分 【殻種別】		m3			Y1E01121602レベル4

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
アスファルト殻受入費 再生工場搬入	7	t			F000000100　00
コンクリート塊受入費 再生工場搬入	0.9	t			F000000800　00
土砂等運搬 【土質】		m3			Y1E01011002レベル4
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り　距離6.5km以下(5.0km超)	7	m3			SPK26040002 00 単第0 -0017　表
残土等処分		m3			Y1E01011003レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
発生土受入費 再生資源化施設	7	m3			F000000200　00
区画線工	1	式			Y1E0210　　レベル2

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
区画線工	1	式			Y1E021001　レベル3
溶融式区画線 【施工方法区分,規格・仕様区分,厚さ】 【排水性舗装用の有無】		m			Y1E02100101レベル4
区画線設置(溶融式) 実線_15cm	120	m			SDT00001　00 単第0 -0018　表
仮設工	1	式			Y1E0115　レベル2
交通管理工	1	式			Y1E011521　レベル3
交通誘導警備員		人			Y1E01152101レベル4
交通誘導警備員B	88	人			R0369　00
＊＊直接工事費＊＊ #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019

本工事費　内訳表

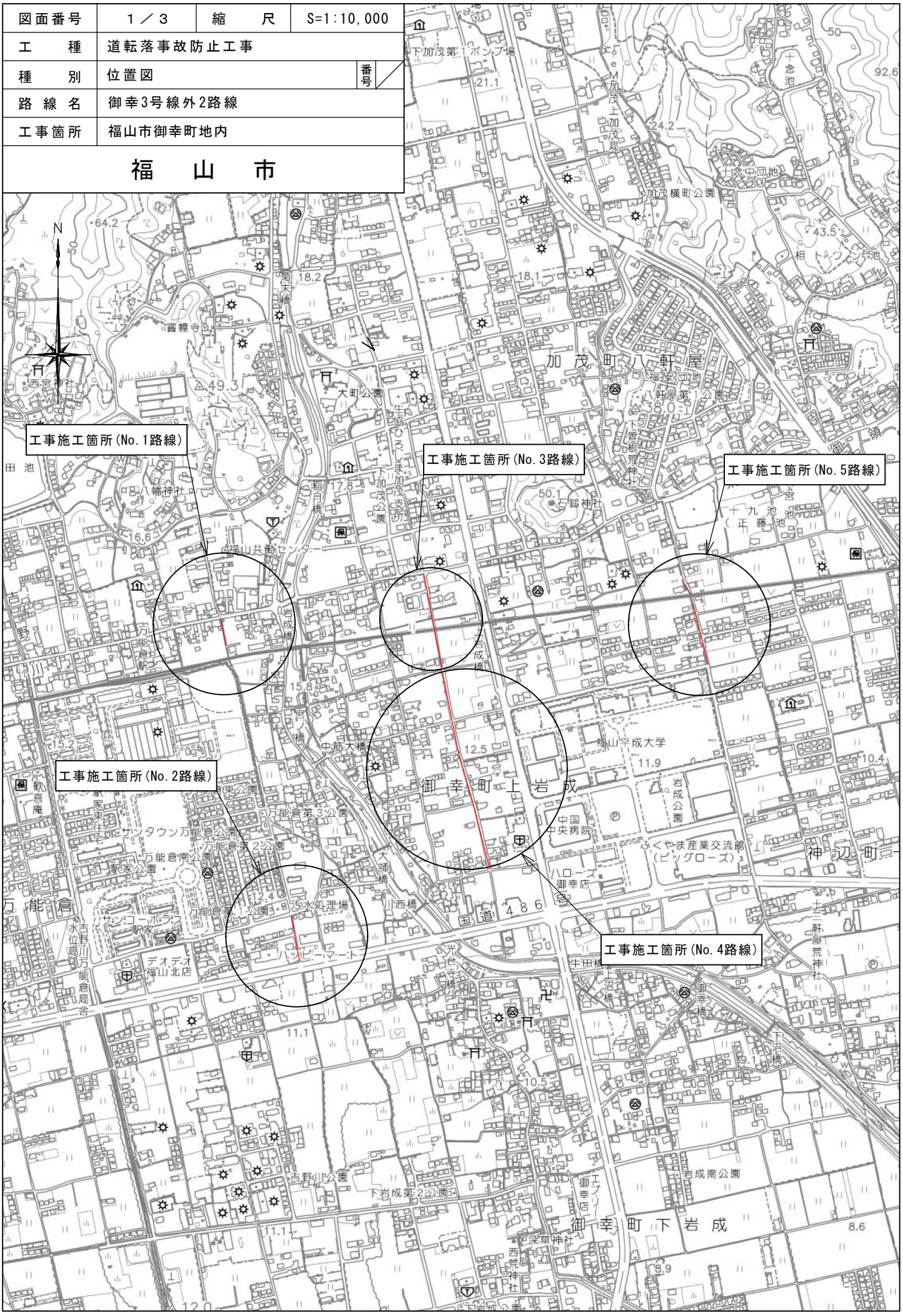
費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
計算情報…… 対象額…… 率……					
＊＊共通仮設費計＊＊					
＊＊純工事費＊＊					
現場管理費 計算情報…… 対象額…… 率……					
＊＊工事原価＊＊					
一般管理費率分 計算情報…… 対象額…… 率……					前払補正率…
契約保証費 計算情報…… 対象額…… 率……					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
＊＊工事価格＊＊					

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
＊＊消費税相当額＊＊ 計算情報…… 対象額…… 率……					
＊＊工事費計＊＊					
＊＊契約保証費計＊＊					

図面番号	1／3	縮　尺	S=1:10,000
工　種	道転落事故防止工事		
種　別	位置図	番号	
路線名	御幸3号線外2路線		
工事箇所	福山市御幸町地内		

福　山　市

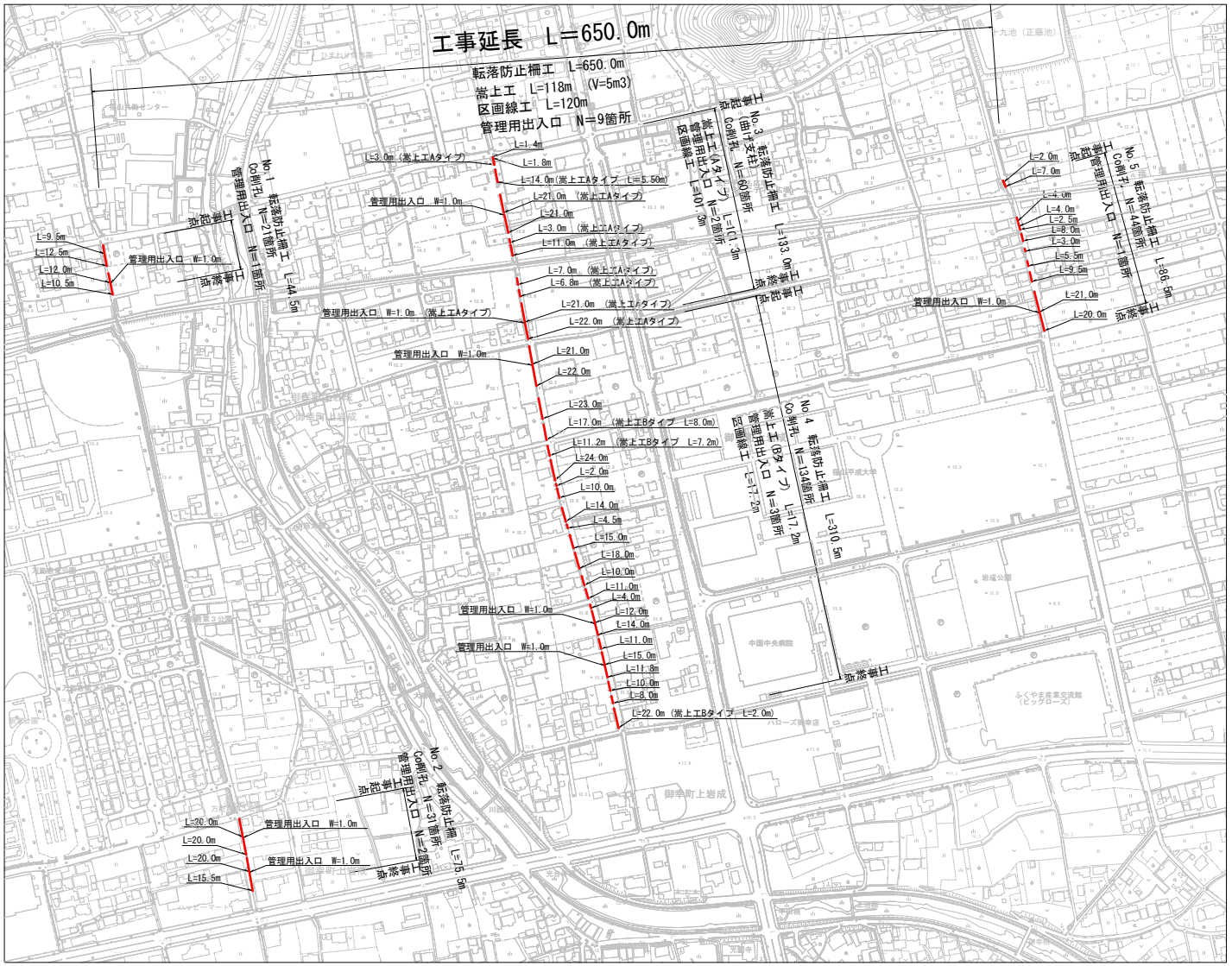


図面番号	2/3	縮　尺	図示
工　種	道路転落事故防止工事		
種　別	平面図		
路線名	御幸3号線外2路線		
工事箇所	福山市御幸町地内		
福　　山　　市			

A1→A3に50%縮小印刷

平面図

1/2500



転落防止柵工
44.5+75.5+133.0+310.5+86.5＝650.0m

Co削孔
21+31+60+134+44＝290孔

管理用出入口
1+2+2+3+1＝9箇所

嵩上工(Aタイプ)
3.0+5.5+21.0+3.0+11.0+7.0+6.8
+21.0+1.0+22.0＝101.3m

嵩上工(Bタイプ)
8.0+7.2+2.0＝17.2m

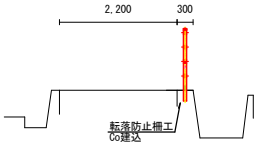
区画線工　実線15cm 白
101.3+17.2＝118.5m

図面番号	3／3	縮　尺	図示
工　種	道路転落事故防止工事		
種　別	標準断面図・構造図		
路線名	御幸3号線外2路線		
工事箇所	福山市御幸町地内		
福　山　市			

A1→A3に50%縮小印刷

標準断面図
S=1/50

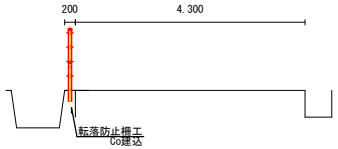
No. 1



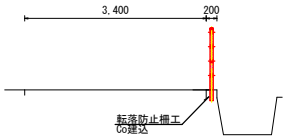
No. 4



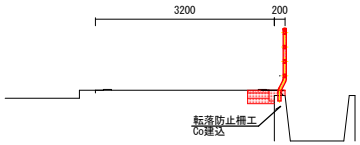
No. 2



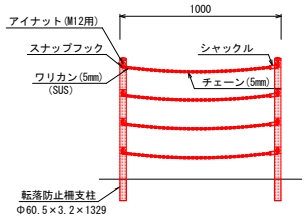
No. 5



No. 3

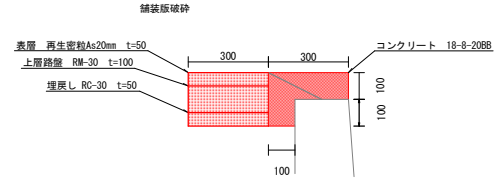


管理用出入口
S=Non



嵩上工
S=1/10

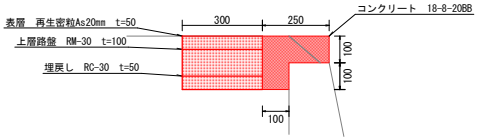
Aタイプ



Aタイプ　(10m当り)

舗装版切断	10m
舗装版破砕	0.5*10=5m2
床掘	0.4*0.15*10=0.6m3
埋戻し	0.3*0.05*10=0.15m3
上層路盤	0.3*10=3.0m2
表層工	0.3*10=3.0m2
型枠	0.2*10+0.1*10=3.0m2
嵩上げコンクリート	0.04*10=0.4m3

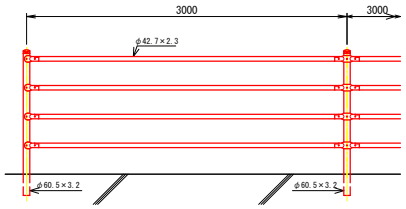
Bタイプ



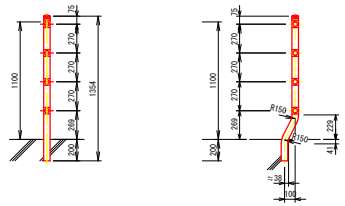
Bタイプ(10m当り)

舗装版切断	10m
舗装版破砕	0.5*10=5m2
床掘	0.4*0.15*10=0.6m3
埋戻し	0.3*0.05*10=0.15m3
上層路盤	0.3*10=3.0m2
表層工	0.3*10=3.0m2
型枠	0.2*10+0.1*10=3.0m2
嵩上げコンクリート	0.035*10=0.35m3

転落防止柵(P種)
S=1/25



コンクリート建込用（W）



数量表(1箇所当り：W=1.0m)

種別	単位	数量
アイナット（ステンレス製）	個	8
スナップフック（ステンレス製）	個	4
シャックル（ステンレス製）	個	4
ステンレスチェーン	m	4.0
ワリカン（ステンレス製）	個	4

設計条件
設計荷重・・・防護柵の設置基準・同解説のP種に基づく。

備考
1．外装は亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装とする。但し、ボルト・ナットは溶融亜鉛めっきのみとする。

<注記>
本ガードパイプの勾配角度は10°以下を条件とする。

参　考　図　書

施工単価表

横断・転落防止柵 コンクリート建込　　SS000145　　単第0 -0001　表

ビーム式・パネル式 [規]100m以上　　転落防止柵-標準品-4段ビーム型,白色　　1　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
設置【手間のみ】 コンクリート建込 ビーム式・パネル式(支柱間隔3m)	1.000	m			
転落防止柵-標準品-4段ビーム型,白色 2.3×φ42.7×3000 Co建込	1.000	m			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			
A=1　ビーム式・パネル式 D=1　[規]100m以上 F=1　-			B=8　転落防止柵-標準品-4段ビーム型,白色 E=1　-		

施工単価表

管理用出入口　　V000000300　　単第0 -0002　表

W＝1.0m　　1　　箇所　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
横断・転落防止柵 ビーム又はパネルの設置 支柱間隔_1m	1	m			単第0-0003　表
アイナット SUS製　M12	8	個			
スナップフック SUS製	4	個			
ワリカン SUS製　5㎜	4	個			
シャックル SUS製　6㎜	4	個			
チェーン SUS製　5㎜	4	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	箇所			

施工単価表

横断・転落防止柵 ビーム又はパネルの設置　　SS000149　　単第0 -0003　表

支柱間隔_1m　　1　　m　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
部材設置【手間のみ】 ビームまたはパネルのみ 支柱間隔3m	1.000	m			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			
A=1　　- C=2　　支柱間隔_1m			B=1　　-		

施工単価表

コンクリート削孔(コンクリート穿孔機)　SPK26040116　単第0 -0004　表

削孔径90㎜以上100㎜未満　削孔深さ200㎜以上400㎜未満　1　孔　当り

機械構成比: 2.94%　労務構成比: 66.17%　材料構成比: 30.89%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 7,322.30000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリート穿孔機 電動式コアボーリングマシン [簡易仕様型]最大穿孔径φ250㎜	1.56%		コンクリート穿孔機 電動式コアボーリングマシン 〔簡易仕様型〕 最大穿孔径φ250㎜		MTPC00093 MTPT00093
<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量3kVA 低騒音	0.89%		発動発電機 ガソリンエンジン駆動 3kVA		KTPC00042 KTPT00042
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	39.24%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	10.61%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	5.30%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
ダイヤモンドビット 外径110.0㎜,一般用 コンクリート削孔用	27.65%		ダイヤモンドビット φ110㎜		TTPC00235 TTPT00235
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.70%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014

施工単価表

コンクリート削孔(コンクリート穿孔機)　SPK26040116　単第0 -0004　表

削孔径90㎜以上100㎜未満　削孔深さ200㎜以上400㎜未満　1　孔　当り

機械構成比: 2.94%　労務構成比: 66.17%　材料構成比: 30.89%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 7,322.30000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001
A=4　削孔径90㎜以上100㎜未満			B=2　削孔深さ200㎜以上400㎜未満		

施工単価表

嵩上工　　V000000100　　単第0 -0005　表

Aタイプ　　10　　m　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	10	m			単第0-0006　表
舗装版破砕積込(小規模土工)	5	m2			単第0-0007　表
床掘り 土砂 上記以外(小規模)	0.6	m3			単第0-0008　表
埋戻し 土砂 上記以外(小規模)	0.15	m3			単第0-0009　表
再生クラッシャラン 30～0mm 小型車割増	0.18	m3			
上層路盤(歩道部) 全仕上り厚100mm 1層施工 路盤材(各種)	3	m2			単第0-0010　表
表層(歩道部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚50mm	3	m2			単第0-0011　表
型枠 一般型枠 小型構造物	3	m2			単第0-0012　表
コンクリート 小型構造物 18-8-25(20)BB 人力打設	0.4	m3			単第0-0013　表
諸雑費	1	式			
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			

施工単価表

舗装版切断　　SPK26040304　　単第0 -0006　表

アスファルト舗装版　　アスファルト舗装版厚15cm以下　　1　m　当り

機械構成比: 14.40%　労務構成比: 58.90%　材料構成比: 26.70%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 731.83000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)･湿式･E駆動 通称(切削深)20cm級ブレード径φ56cm	9.80%		コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)・湿式・E駆動 通称(切削深)20cm級 ブレード径φ56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	20.20%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.89%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	9.00%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	22.47%		コンクリートカッタブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.88%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

舗装版切断　　SPK26040304　　単第0 -0006　表

アスファルト舗装版　　アスファルト舗装版厚15cm以下　　1　m　当り

機械構成比: 14.40%　労務構成比: 58.90%　材料構成比: 26.70%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 731.83000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
積算単価			積算単価		EP001
A=1 アスファルト舗装版 E=1 -(全ての費用)			B=1 アスファルト舗装版厚15cm以下		

施工単価表

舗装版破砕積込(小規模土工)　　SPK26040017　　単第0 -0007　表

1　m2　当り

機械構成比: 21.20%　労務構成比: 70.89%　材料構成比: 7.91%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 1,871.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 バケット容量0.13m3	21.20%		小型バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 バケット容量0.13m3		MTPC00184 MTPT00184
運転手(特殊)	70.89%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	7.91%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1　-(全ての費用)					

施工単価表

床掘り　　SPK26040014　　単第0 -0008　表

土砂 上記以外(小規模)　　1　　m3　　当り

機械構成比:　19.50%　　労務構成比:　73.36%　　材料構成比:　7.14%　　市場単価構成比:　0.00%　　標準単価:　2,397.90000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排3 バケット容量0.28m3	19.50%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排3 バケット容量0.28m3		MTPC00189 MTPT00189
運転手(特殊)	39.84%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	33.52%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	7.14%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1　土砂 E=1　-(全ての費用)			B=5　上記以外(小規模)		

施工単価表

埋戻し　　SPK26040019　　単第0 -0009　表

土砂　　上記以外(小規模)　　1　　m3　　当り

機械構成比:　9.23%　労務構成比:　86.75%　材料構成比:　4.02%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価:　4,309.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排3 バケット容量0.28m3	8.67%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排3 バケット容量0.28m3		MTPC00189 MTPT00189
タンパ及びランマ ランマ 通称60～80kg級	0.56%		ランマ 通称質量60～80kg級		MTPC00048 MTPT00048
普通作業員	49.78%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	19.28%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	17.69%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	3.17%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.85%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=5　上記以外(小規模) D=1　-(全ての費用)			B=1　土砂		

施工単価表

埋戻し　　SPK26040019　　単第0 -0009　表

土砂　　上記以外(小規模)　　1　　m3　　当り

機械構成比: 9.23%　労務構成比: 86.75%　材料構成比: 4.02%　市場単価構成比: 0.00%　　標準単価： 4,309.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考

施工単価表

上層路盤(歩道部)　　SPK26040235　　単第0 -0010　表

全仕上り厚100㎜ 1層施工　　路盤材(各種)　　1　　m2　　当り

機械構成比: 4.48%　労務構成比: 70.96%　材料構成比: 24.56%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 956.69000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・超低騒音型・排3 バケット容量0.09m3	2.68%		小型バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・超低騒音型・排3 バケット容量0.09m3		MTPC00169 MTPT00169
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3～4t 排出ガス対策型(第2,3次基準値)低騒音	1.59%		振動ローラ(舗装用) 搭乗・コンバインド式 運転質量3～4t		KTPC00009 KTPT00009
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	25.56%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	15.00%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	14.84%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	12.19%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生粒度調整砕石 30～0㎜ 小型車割増	22.56%		再生粒度調整砕石 RM-30 [標準数量]全仕上り厚100㎜		F0000001000 TTPT00360

施工単価表

上層路盤(歩道部)　SPK26040235　単第0 -0010　表

全仕上り厚100㎜ 1層施工　路盤材(各種)　1　m2　当り

機械構成比: 4.48%　労務構成比: 70.96%　材料構成比: 24.56%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 956.69000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	1.91%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=100 全仕上り厚(㎜) C=1000 【F】路盤材(m3)			B=4 路盤材(各種) D=1 -(全ての費用)		
【路盤材単価】 全仕上り厚(㎜)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(㎜):100.000(㎜)					

施工単価表

表層(歩道部)　SPK26040244　単第0 -0011　表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)　1層当り平均仕上厚50mm　1　m2　当り

機械構成比: 0.45%　労務構成比: 52.37%　材料構成比: 47.18%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 2,357.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t	0.30%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t		MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクタ 前進型 通称40～60kg級	0.08%		振動コンパクタ 前進型 通称40～60kg級		MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	20.34%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	18.19%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	5.49%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(20)	41.06%		再生密粒度As混合物(13) [標準数量]平均仕上り厚40mm		TTPCD0038 TTPT00293
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	5.93%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026

施工単価表

表層(歩道部)　　SPK26040244　　単第0 -0011　表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)　　1層当り平均仕上厚50mm　　1　　m2　　当り

機械構成比:　0.45%　　労務構成比:　52.37%　　材料構成比:　47.18%　　市場単価構成比:　0.00%　　標準単価:　2,357.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.11%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	0.05%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=1　平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) C=6　再生密粒度アスファルト混合物(20) G=2　小型車割増有 I=1　-(全ての費用)			B=50　1層当り平均仕上り厚(mm) E=2　PK-3 H=1　-		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

施工単価表

型枠　　SPK26040159　　単第0 -0012　表

一般型枠　　小型構造物　　1　　m2　　当り

機械構成比:　0.00%　　労務構成比:　100.00%　　材料構成比:　0.00%　　市場単価構成比:　0.00%　　標準単価:　9,646.50000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	44.38%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	30.83%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	11.75%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1　一般型枠 C=1　-(全ての費用)			B=2　小型構造物		

施工単価表

コンクリート　　SPK26040157　　単第0 -0013　表

小型構造物 18-8-25(20)BB　　人力打設　　1　m3　当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 41.24%　材料構成比: 58.76%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 38,619.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	22.34%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.14%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	7.74%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材20(25) W/C(60%),種別(高炉)	58.76%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00003 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=2 小型構造物 C=3 18-8-25(20)BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=2 小型車割増有		

施工単価表

嵩上工　　V000000200　　単第0 -0014　表

Bタイプ　　10　　m　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	10	m			単第0-0006　表
舗装版破砕積込(小規模土工)	5	m2			単第0-0007　表
床掘り 土砂 上記以外(小規模)	0.6	m3			単第0-0008　表
埋戻し 土砂 上記以外(小規模)	0.15	m3			単第0-0009　表
再生クラッシャラン 30～0mm 小型車割増	0.18	m3			
上層路盤(歩道部) 全仕上り厚100mm 1層施工 路盤材(各種)	3	m2			単第0-0010　表
表層(歩道部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚50mm	3	m2			単第0-0011　表
型枠 一般型枠 小型構造物	3	m2			単第0-0012　表
コンクリート 小型構造物 18-8-25(20)BB 人力打設	0.35	m3			単第0-0013　表
諸雑費	1	式			
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			

施工単価表

殻運搬　　SPK26040155　　単第0 -0015　表

舗装版破砕　　DID区間有り　運搬距離3.5km以下(3.0km超)　　1　　m3　　当り

機械構成比:　19.09%　　労務構成比:　72.09%　　材料構成比:　8.82%　　市場単価構成比:　0.00%　　標準単価:　4,122.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 通称2t積級	19.09%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 通称2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	72.09%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	8.82%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3　舗装版破砕 C=2　DID区間有り E=1　-(全ての費用)			B=4　機械積込(小規模土工) D=17　運搬距離3.5km以下(3.0km超)		

施工単価表

殻運搬　　SPK26040155　　単第0 -0016　表

Co(無筋)構造物とりこわし　　DID区間有り　運搬距離14.4km以下(10.9km超)　　1　　m3　　当り

機械構成比:　39.03%　　労務構成比:　46.18%　　材料構成比:　14.79%　　市場単価構成比:　0.00%　　標準単価:　2,530.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 通称10t積級	39.03%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 通称10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	46.18%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	14.79%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1　Co(無筋)構造物とりこわし C=2　DID区間有り E=1　-(全ての費用)			B=1　機械積込 D=50　運搬距離14.4km以下(10.9km超)		

施工単価表

土砂等運搬　　SPK26040002　　単第0 -0017　表

小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)　　DID区間有り　距離6.5km以下(5.0km超)　　1　　m3　　当り

機械構成比:　19.09%　　労務構成比:　72.09%　　材料構成比:　8.82%　　市場単価構成比:　0.00%　　標準単価:　4,580.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 通称2t積級	19.09%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 通称2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	72.09%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	8.82%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2　小規模 C=1　土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=29　距離6.5km以下(5.0km超)			B=6　バックホウ B容量0.13m3 D=2　DID区間有り		

施工単価表

区画線設置(溶融式)　SDT00001　単第0 -0018　表

実線_15cm　1000　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_溶融式(手動)【手間のみ】 実線_15cm 時間的制約なし	1,000.000	m			
トラフィックペイント(JISK5665_3種1号) 溶融型(紛体状)ガラスビーズ含有量15～18% 白	598.500	kg			
ガラスビーズ(JISR3301_1号) 粒度0.106～0.850mm	26.250	kg			
接着用プライマー 区画線用_コンクリート舗装用	26.250	kg			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	49.350	L			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　合計　＊＊＊	1,000	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			
A=1　昼間施工 C=1　実線_15cm E=2　コンクリートに設置の場合			B=1　白色 D=1　塗布厚t=1.5mm F=1　時間的制約なし		
G=1　- I=1　-			H=1　- J=1　-(全ての費用)		

施工単価表

区画線設置(溶融式)　SDT00001　単第0 -0018　表

実線_15cm　1000　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考

本 工 事 数 量 総 括 表

レベル1	レベル2 工種	レベル3 種別	レベル4 細別	規格	単位	計算数量	計上数量	摘要
道路転落事故防止工事（御幸3号線外2路線）								
道路改良								
	防護柵工							
		防止柵工						
			横断・転落防止柵　コンクリート建込	ビーム式・パネル式[規]100m以上　転落防止柵-標準品-4段ビーム、白色	m	650.0	650	図面2/3
			支柱曲げ加工		本	60.0	60	〃
			管理用出入口	W=1.0m	箇所	9.0	9	〃
			コンクリート削孔(コンクリート穿孔機)	削孔径90㎜以上100㎜未満　削孔深さ200㎜以上400㎜未満	孔	290.0	290	〃
		防護柵基礎工						
			嵩上工	Aタイプ	m	101.3	101	図面2/3
			嵩上工	Bタイプ	m	17.2	17	〃
		運搬処理工						
			殻運搬	DID区間有り　運搬距離3.5km以下(3.0km超)	m3	3.0	3	5/10*118.5*0.05
			殻運搬	DID区間有り　運搬距離14.4km以下(10.9km超)	m3	0.4	0.4	(0.045*0.045*3.14*0.2)*290
			殻処分	アスファルト殻受入費　再生工場搬入	t	7.0	7	2.96*2.35
			殻処分	コンクリート塊受入費　再生工場搬入	t	0.9	0.9	0.37*2.35
			土砂等運搬	小規模　土砂(岩塊・玉石混り土含む)　DID有り　距離6.5km以下(5.0km超)	m3	7.1	7	0.6/10*118.5
			残土等処分	発生土受入費　再資源化施設	m3	7.1	7	
	区画線工							
		区画線工						
			区画線設置(溶融式)	実線_15cm	m	118.5	120	図面2/3
	仮設工							
		交通管理工						
			交通誘導警備員	交通誘導警備員B	人	88.0	88	

計第1表-1	数量計算表				
工事延長	転落防止柵	削孔（φ90）		管理用出入口 W=1.0m	備　　考
	延長	計算式	孔	箇所	
9.5	9.5	9.5÷3.0+1=4.2	5		工事起点
12.5	12.5	12.5÷3.0+1=5.2	6		
				1	管理用出入口
12.0	12.0	12.0÷3.0+1=5.0	5		
10.5	10.5	10.5÷3.0+1=4.5	5		工事終点
合計					
44.5	44.5		21	1	No.1

計第1表-2	数量計算表				
工事延長	転落防止柵	削孔（φ90）		管理用出入口 W=1.0m	備　　考
	延長	計算式	孔	箇所	
20.0	20.0	20.0÷3.0+1=7.7	8		工事起点
				1	管理用出入口
20.0	20.0	20.0÷3.0+1=7.7	8		
20.0	20.0	20.0÷3.0+1=7.7	8		
				1	管理用出入口
15.5	15.5	15.5÷3.0+1=6.2	7		工事終点
合計					
75.5	75.5		31	2	No.2

計第1表-3	数量計算表				
工事延長	転落防止柵	削孔（φ90）		管理用出入口 W=1.0m	備　　考
	延長	計算式	孔	箇所	
1.4	1.4	1.4÷3.0+1=1.5	2		工事起点
1.8	1.8	1.8÷3.0+1=1.6	2		
3.0	3.0	3.0÷3.0+1=2.0	2		
14.0	14.0	14.0÷3.0+1=5.7	6		
21.0	21.0	21.0÷3.0+1=8.0	8		
				1	管理用出入口
21.0	21.0	21.0÷3.0+1=8.0	8		
3.0	3.0	3.0÷3.0+1=2.0	2		
11.0	11.0	11.0÷3.0+1=4.7	5		
7.0	7.0	7.0÷3.0+1=3.3	4		
6.8	6.8	6.8÷3.0+1=3.3	4		
21.0	21.0	21.0÷3.0+1=8.0	8		
				1	
22.0	22.0	22.0÷3.0+1=8.3	9		工事終点
合計					
133.0	133.0		60	2	No.3

計第1表-4	数量計算表				
工事延長	転落防止柵	削孔（φ90）		管理用出入口 W=1.0m	備　　考
	延長	計算式	孔	箇所	
21.0	21.0	21.0÷3.0+1=8.0	8		工事起点
				1	管理用出入口
22.0	22.0	22.0÷3.0+1=8.3	9		
23.0	23.0	23.0÷3.0+1=8.7	9		
17.0	17.0	17.0÷3.0+1=6.7	7		
11.2	11.2	11.2÷3.0+1=4.7	5		
24.0	24.0	24.0÷3.0+1=9.0	9		
2.0	2.0	2.0÷3.0+1=1.7	2		
10.0	10.0	10.0÷3.0+1=4.3	5		
14.0	14.0	14.0÷3.0+1=5.7	6		
4.5	4.5	4.5÷3.0+1=2.5	3		
15.0	15.0	15.0÷3.0+1=6.0	6		
18.0	18.0	18.0÷3.0+1=7.0	7		
10.0	10.0	10.0÷3.0+1=4.3	5		
11.0	11.0	11.0÷3.0+1=4.7	5		
4.0	4.0	4.0÷3.0+1=2.3	3		
12.0	12.0	12.0÷3.0+1=5.0	5		
				1	管理用出入口
14.0	14.0	14.0÷3.0+1=5.7	6		
11.0	11.0	11.0÷3.0+1=4.7	5		
15.0	15.0	15.0÷3.0+1=6.0	6		
				1	管理用出入口
11.8	11.8	11.8÷3.0+1=4.9	5		
10.0	10.0	10.0÷3.0+1=4.3	5		
8.0	8.0	8.0÷3.0+1=3.7	4		
22.0	22.0	22.0÷3.0+1=8.3	9		工事終点
合計					
310.5	310.5		134	3	No.4

計第1表-5	数量計算表				
工事延長	転落防止柵	削孔（φ90）		管理用出入口 W=1.0m	備　　考
	延長	計算式	孔	箇所	
2.0	2.0	2.0÷3.0+1=1.7	2		工事起点
7.0	7.0	7.0÷3.0+1=3.3	4		
4.0	4.0	4.0÷3.0+1=2.3	3		
4.0	4.0	4.0÷3.0+1=2.3	3		
2.5	2.5	2.5÷3.0+1=1.8	2		
8.0	8.0	8.0÷3.0+1=3.7	4		
3.0	3.0	3.0÷3.0+1=2.0	2		
5.5	5.5	5.5÷3.0+1=2.8	3		
9.5	9.5	9.5÷3.0+1=4.2	5		
21.0	21.0	21.0÷3.0+1=8.0	8		
				1	管理用出入口
20.0	20.0	20.0÷3.0+1=7.7	8		工事終点
合計					
86.5	86.5		44	1	No.5